



取扱説明書

安全と解説

LED TV*

* LG LED TVはLEDバックライトを搭載したLCD画面を採用しています。

製品をご使用になる前に、このマニュアルをよくお読みください。

また、必要なときに参照できるよう保管してください。

65US660H0JD 55US660H0JD 43US660H0JD



www.lg.com

Copyright © 2022 LG Electronics Inc. All Rights Reserved.

目次

3 警告!安全にお使いいただくために

5 準備

5 別売品

- 5 マジックリモコン
- 5 壁掛け用ブラケット

6 テレビの持ち運び、移動

7 テレビ台に設置する

- 7 Kensingtonセキュリティシステムの使用
- 7 テレビを壁に固定する

8 壁に取り付ける

9 接続

- 9 アンテナ/ケーブル
- 9 衛星テレビ受信用アンテナ
- 9 その他の接続
- 10 外部スピーカー
- 11 ネットワーク

12 ボタンの使い方

- 12 基本機能
- 12 メニューの調整

12 リモコンの使い方

14 トラブルシューティング

15 仕様

- 18 HDMI-DTVサポートモード
- 18 HDMI-PCサポートモード
- 19 サポートする画像形式
- 19 サポートする音声形式
- 20 サポートする映像形式
- 21 Green Mark

21 オープンソースソフトウェアのお知らせ

21 登録商標

- 21 記号

22 さらに、安全にお使いいただくために

23 IRコード

24 外部制御デバイスのセットアップ

- 24 RS-232Cのセットアップ
- 24 コネクターのタイプ:D-Sub 9ピンオス
- 25 RS-232Cの設定
- 25 通信パラメーター
- 25 IDの設定
- 26 コマンド参照リスト
- 27 送信/受信プロトコル

35 保証とアフターサービス

警告!安全にお使いいただくために



注意

感電の危険
開けないでください



注意: 感電のリスクを低減するために、カバー(または背面)を取り外さないでください。内部にユーザーが修理できる部品はありません。資格のあるサービス担当者に依頼してください。

 この記号は、本製品の筐体内に感電のリスクを十分に引き起こすだけの未絶縁の危険な電圧が存在することを警告しています。

 この記号は、保守(サービス)に関する重要な指示や、取扱いを誤った場合、人がけがをしたり物的損害を受けたりするおそれがある内容を示しています。

警告: 火災および感電のリスクを低減するために、本製品を雨または湿気に曝さないでください。

- ・ 引火を防ぐため、ロウソクや裸火などを本製品に近づけないでください。
 - ・ **テレビおよび/またはリモコンを以下の環境に配置しないでください。**
 - 直射日光のあたる場所は避けてください。
 - 浴室などの湿度の高い領域。
 - ストープおよび熱を生成する他の装置などの熱源の近く。
 - 蒸気または油に曝される可能性のあるキッチンカウンターや加湿器の近く。
 - 雨または風に曝される領域。
 - 製品を水滴や水気にさらさないでください。また、花瓶、カップなどの液体が入ったものを製品の上(製品の上の棚など)や側に置かないでください。
 - ガソリンやロウソクなど、可燃物の近くに置かないでください。また、エアコンの風が直接当たらないようにしてください。
 - ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 火災や感電、燃焼/爆発、誤作動または変形の原因となるおそれがあります。

・ 換気

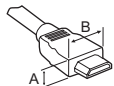
- テレビは換気が十分な場所に設置してください。本棚などの狭い空間には設置しないでください。
 - カーペットまたはクッションの上に本製品を設置しないでください。
 - 本製品に布などを掛けた状態で、電源に接続しないでください。
 - ・ 通気口をふさがないように注意してください。テレビを長期間視聴すると、通気口が熱くなる場合があります。
 - ・ ねじる、よじれる、はさまれる、ドアに閉じられる、人が上を歩くなど、物理的または機械的な乱用から電源コードを保護してください。プラグ、コンセント、製品とコードのさかい目には特にご注意ください。
 - ・ 電源コードを差したままテレビを移動しないでください。
 - ・ 破損やゆるみが見られる電源コードを使用しないでください。
 - ・ 電源コードを抜き差しするときはプラグ部分を持ってください。コード部分を引っ張って抜かないでください。
 - ・ 同じACコンセントに多くの機器を接続しないでください。火災や感電のおそれがあります。
 - ・ **主電源からの取り外し**
 - 電源プラグは電源を切断する装置です。緊急時に備えて、電源プラグは簡単に手が届く状態にしておく必要があります。
 - ・ お子様がテレビの上に上ったり、はいあがったりしないようにしてください。そうしないと、テレビが落下して重傷を負う恐れがあります。
 - ・ **屋外アンテナの接地**(国によって異なります):
 - 屋外アンテナを設置する場合には、次の注意事項を守ってください。
- 屋外アンテナシステムを架空電力線や電灯、電気回路の付近に設置しないでください。このような電力線または回路に接触する可能性のある場所にも設置しないでください。死亡または重傷を負うおそれがあります。

- ・ **接地** (接地されないデバイスを除く)
 - 3極接地のACプラグのあるテレビは、3極接地のACコンセントに接続してください。感電を避けるため、アース線を接続してください。
- ・ 落雷中に本製品やアンテナに触れないでください。感電するおそれがあります。
- ・ テレビと壁のコンセントに電源コードをしっかりと接続してください。プラグが外れかけたまま使用すると、プラグやソケットが破損する場合があります。また、火災が発生するおそれもあります。
- ・ 本製品に金属や可燃物を挿入しないでください。本製品に異物が入った場合には、電源コードを抜いて、カスタマーサービスにご連絡ください。
- ・ 電源に接続中に電源コードの先端に触れないでください。感電するおそれがあります。
- ・ **以下のいずれかの場合、本製品の電源コードをすぐに抜いて、お近くのカスタマーサービスにご連絡ください。**
 - 本製品が損傷した場合。
 - 水分などの物質が製品 (ACアダプター、電源コード、テレビなど) に入った場合。
 - テレビから煙のにおいや異臭がした場合。
 - 落雷時または長期間使用しない場合。リモコンまたは電源ボタンでテレビをオフにしても、電源プラグを外さない限り、本体はAC電源に接続されたままです。
- ・ テレビの近くで高電圧の電子機器を使用しないでください (電気虫取り器など)。製品が誤動作する恐れがあります。
- ・ LG Electronicsからの書面による承諾がない限り、本製品を変更しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。点検または修理については、お近くのカスタマーサービスまでお問い合わせください。未承認の変更を行った場合、本製品の使用権が無効になります。
- ・ 電源コードは、LG Electronicsで供給する純正の製品だけを使用する。同梱する電源コードを他の製品には使用しない。火災、感電の原因となります。
- ・ ACアダプターまたは電源コードを決して分解しないでください。火災または感電の原因となる恐れがあります。
- ・ アダプターを落としたり、衝撃を与えないように慎重に扱ってください。衝撃を与えると、アダプターが破損する可能性があります。
- ・ 濡れた手でテレビに触らないでください。火災や感電のおそれがあります。また、電源プラグの突起が濡れていたり、ほこりが付着している場合は、プラグを完全に乾かし、ほこりをよく拭き取ってください。

- ・ **バッテリー**
 - アクセサリー (バッテリーなど) は、お子様の手の届かない安全な場所に保管してください。
 - バッテリーを短絡させたり、分解しないでください。また、過熱状態にしないでください。バッテリーを火の中に入れてしないでください。バッテリーを過熱状態にしないでください。
- ・ **移動**
 - 移動の際には、製品の電源が切れており、電源ケーブルとその他すべてのケーブルが取り外してあることを確認してください。大型のテレビを運ぶには2人以上の人手が必要になる場合があります。テレビのフロントパネルを押したり、フロントパネルに圧力をかけたりしないでください。製品が破損したり、火災が起きる可能性があります。また、重傷を負うおそれもあります。
- ・ 製品の梱包時に使用されている除湿剤や、ビニール製の梱包材はお子様の手が届かないところに置いてください。
- ・ 製品に衝撃を与えたり、製品の上に物を落とさないでください。画面にも物を落とさないでください。
- ・ 手や尖ったもの (爪、鉛筆、ペンなど) でパネルを強く押したり、パネル上を引っかいたりしないでください。画面が損傷する可能性があります。
- ・ **清掃**
 - 清掃を行う前に、電源コードを抜いてください。乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。水や液体をテレビに直接かけないでください。ガラススクリーナー、消臭スプレー、殺虫剤、潤滑剤、ワックス (車、工業用)、研磨剤、ベンジン、シンナーなどの化学物質を使って、テレビを清掃しないでください。製品および/またはパネルの損傷につながる恐れがあります。感電や破損の原因となるおそれがあります。

準備

- テレビの購入後、初めて電源を入れた時は、テレビの初期化に数分かかることがあります。
- 表示される画像がお使いのテレビとは異なる場合があります。
- お使いのテレビのOSD (オンスクリーン画面) が、本マニュアル内の記載と異なる場合があります。
- 利用可能な機能およびオプションは、入力ソースまたは使用している製品モデルにより異なる場合があります。
- 本製品は、抜き差しが容易にできる近くのコンセントに接続してください。オン/オフボタンがない装置は、電源コードを抜くと電源がオフになります。
- 付属品は、モデルにより異なる場合があります。
- 将来、実装ソフトウェアの更新で新しい機能が追加される場合があります。
- 製品仕様は、製品の機能向上や運営上の問題や方針に応じて予告なく追加、変更、削除されることがあります。
- 最適な接続を行うために、10 mm以下の厚みで、18 mm以下の幅のベゼルのHDMIケーブルやUSBデバイスを使用してください。USBケーブルまたはUSBメモリスティックが、お使いのテレビのUSBポートに適合しない場合は、USB 2.0をサポートする延長ケーブルを使用してください。



* A:10 mm以下

* B:18 mm以下

- HDMIロゴの付いた規格が保証されたHDMIケーブルをご使用ください。次のHDMI ケーブルのご使用を推奨します。(3 m 以下)
- ウルトラ ハイスピードHDMI®/™ケーブル
- 保証されていないHDMIケーブルや推奨でないHDMIケーブルを使用すると正常に動作しないことがあります。

別売品

別売品は、品質を改善するために、通知なく変更または修正される場合があります。別売品を購入する場合は、販売店にお問い合わせください。これらのデバイスは、特定のモデルと共にのみ動作します。

モデル名または、製品仕様は、製品の機能向上や製造元の状況や方針に応じて予告なく変更されることがあります。

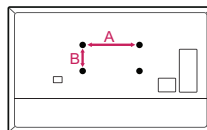
マジックリモコン

AN-MR18HA

無線モジュールの仕様を参照して、ご使用のテレビの型番がBluetoothに対応し、マジックリモコンが使用可能かどうか確認してください。また、ご購入の際は販売店にご相談ください。

壁掛け用ブラケット

LG製の壁掛けブラケットを使用することをおすすめします。壁掛け設置については、製品の性能、および安全確保のため、必ずお買い上げの販売店、または工事専門業者に施工をご依頼ください。



モデル	43US66*	55/65US66*
VESA (A x B) (mm)	200 x 200	300 x 300
標準ネジ	M6	M6
ネジの数	4	4
壁掛けブラケット	LSW240B	OLW480B

※テレビのより詳細な寸法は、当社ホームページ (www.lg.com) からご確認ください。

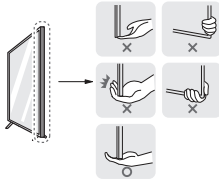
テレビの持ち運び、移動

テレビを動かす際は、以下に注意して、テレビに傷などが付かないよう、安全に運んでください。

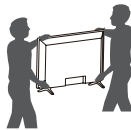
- ・テレビの梱包に使用されていた箱などを使用してテレビを運ぶことをおすすめします。
- ・テレビを動かしたり、持ち上げたりする前に、電源コードおよびすべてのケーブルを取り外してください。
- ・テレビを持つ場合、テレビの背面を持つてください。



- ・テレビのフレームの側面と下をしっかりと持つてください。透明な部分やスピーカー、スピーカーグリルは持たないでください。下図のように、パネルは握らずに、底部分にしっかりと手を添えて移動してください。パネルをぎゅっと握ったり、掴んだ場合、破損や損傷するおそれがあります。



- ・大型テレビ開梱や持ち運び、取付は、必ず2人以上で行ってください。落下してケガや本機の損傷の原因になることがあります。
- ・テレビを手で運搬するときは、次の図に示すようにテレビを保持してください。



- ・テレビを運ぶ際は、テレビに衝撃を与えたり、過度な振動を与えたりしないでください。本機を箱から取り出す際や移動の時は、テレビの上部や側面の上部、4つ角部は絶対つかんだり保持しないでください。パネル損傷の原因となります。
- ・テレビを持ち運ぶときは、テレビを真っすぐな状態に維持してください。横向きにしたり、左または右に傾けたりしないでください。

- ・画面を損傷する可能性があるため、フレームシャシが曲がったりするような過度の圧力をかけないでください。
- ・テレビを取り扱うときは、ボタンが損傷しないように注意してください。



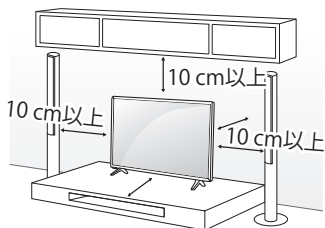
- ・画面には触れないでください。画面が損傷する恐れがあります。
- ・ケーブルホルダーを持ったままテレビを動かさないでください。ケーブルホルダーが破損したり、怪我の恐れがあります。また、故障の原因にもなります。
- ・スタンドを取り付けるときは、毛布・または厚い布を敷いたテーブルの上にテレビ画面を下向きに置いて、行ってください。じゅうぶんな大きさのテーブルがない場合は、梱包箱の上に毛布を敷いて、その上で行ってください。

テレビ台に設置する

(モデルによって異なります)

1 本機を台の上に置きます。

- 傾斜のない、平らな安定した場所に設置してください。また、すべりやすい面やカーペットなどのやわらかい面、不安定な場所を避けて設置してください。
- 放熱ため、本機は下図のようにスペースを空けて設置してください。



(モデルによって異なります)

2 電源コードを壁のコンセントに差し込みます。

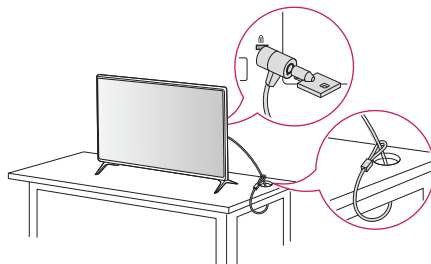


- 製品を組み立てるときに、ネジ部分に異物(油、潤滑剤など)を付着させないでください(製品が損傷する恐れがあります)。
- テレビをスタンドに取り付ける場合は、製品が傾かないようにしてください。製品が落下して怪我をする恐れがあります。
- 安全のため、認定品以外は使用しないでください。製品の寿命が短くなる可能性もあります。
- 認定品以外の使用で発生した損傷や負傷はメーカー保証の対象外となります。
- ネジを正しく挿入し、しっかり締めてください。ネジの締め付けが緩いと、設置後にテレビが傾く可能性があります。ネジを取り付けるときに、力を入れすぎたり、強く締めすぎないでください。ネジが破損したり、固定できなくなる恐れがあります。

Kensingtonセキュリティシステムの使用

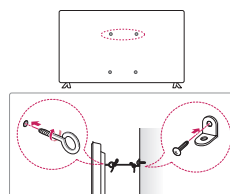
(モデルによって異なります)

Kensingtonセキュリティシステムのコネクターは、テレビの背面にあります。設置および使用の詳細については、Kensingtonセキュリティシステムに付属のマニュアルを参照するか、<http://www.kensington.com>にアクセスしてください。Kensingtonセキュリティシステムのケーブルをテレビとテーブルの間に接続してください。



(モデルによって異なります)

テレビを壁に固定する

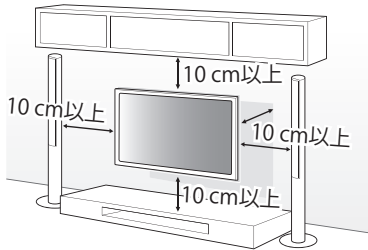


(モデルによって異なります)

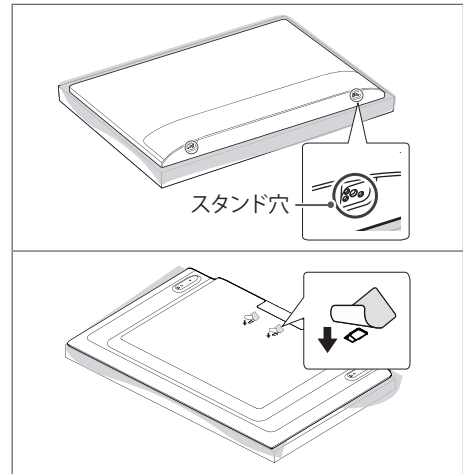
- テレビの背面にアイボルトまたはテレビブラケットとボルトを挿入して締めます。
 - アイボルト位置にボルトが挿入されている場合は、最初にボルトを取り外してください。
- 壁ブラケットをボルトで壁に取り付けます。テレビの背面にある壁掛け金具とアイボルトの位置を合わせます。
- 頑丈なロープで、アイボルトと壁ブラケットをしっかりと接続します。ロープと平面が水平になるようにしてください。
 - テレビをしっかり支えることができる強度とサイズのプラットフォームまたはキャビネットを使用してください。
 - ブラケット、ボルト、ロープは付属していません。お求めはホームセンターや家電量販店、ショッピングサイト等にお問い合わせください。

壁に取り付ける

テレビの背面へオプションの壁掛け用ブラケットを慎重に取り付け、壁掛け用ブラケットを床と垂直に、硬い壁面へ固定します。テレビを他のビル素材へ取り付ける場合は、資格を有する技術者にお問い合わせください。弊社は資格を有するプロの設置業者が壁掛けを行うことをお勧めします。弊社推奨のLGの壁掛け用ブラケットをお勧めします。LG製の壁掛け用ブラケットは、ケーブルを接続した状態で簡単に移動できます。LG製以外の壁掛けブラケットを使用する時は、外部機器を接続するための十分な空間が確保された壁掛けブラケットを使用してください。壁掛けを取り付ける前に、すべてのケーブルを接続することをお勧めします。



- ・ スタンドの穴に埃や異物が入らないように、穴をテープで塞いでから壁掛け用ブラケットを取り付けることをお勧めします。(モデルによって異なります)



- ・ 壁掛けにテレビを設置する前に、スタンドの取り付けと逆の手順を行い、スタントを取り外してください。(モデルによって異なります)
- ・ ネジと壁掛け用ブラケットの詳細については、別売品の説明をご覧ください。
- ・ 壁に本製品を取り付ける場合は、製品の背面にVESA規格の壁掛けインターフェース(別売)を取り付けてください。壁掛け用ブラケット(別売)を使用して本製品を設置するときは、落下しないように慎重に固定してください。
- ・ テレビを壁にかける場合は、テレビの背面にある電源コードや信号ケーブルでテレビをぶらさげないでください。
- ・ オイルやオイルミストに曝される可能性のある壁に、本製品を設置しないでください。本製品の損傷または故障の原因になる可能性があります。

接続

さまざまな外部機器をテレビに接続し、入力モードを切り替えて、外部機器を選択します。外部機器側の詳しい接続については、それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。

アンテナ/ケーブル

RFケーブル(75Ω)を使用して、テレビを壁のアンテナソケットに接続します。

- 複数台のテレビを使用する場合は、信号分配器を使用してください。
- 画質が悪い場合は、信号増幅器を正しく取り付け、画質を向上させてください。
- アンテナを接続した状態で画質が悪い場合は、アンテナを正しい向きに再調整してみてください。
- アンテナケーブルおよび変換器は付属していません。
- ULTRA HD放送に対応していない地域の場合、このテレビでULTRA HD放送を直接受信することはできません。(モデルによって異なります)

衛星テレビ受信アンテナ

衛星RFケーブル(75Ω)を使用して、テレビを衛星テレビ受信アンテナ、衛星ソケットに接続します。(モデルによって異なります)

その他の接続

外部デバイスにテレビを接続してください。最良の画質と音質を実現するために、HDMIケーブルを使用して、外部デバイスとテレビを接続してください。一部のケーブルは付属していません。

HDMI

- サポートされるHDMI音声形式：
(モデルによって異なります)
Dolby Digital/Dolby Digital Plus (32 kHz/44.1 kHz/48 kHz)、
PCM (32 kHz/44.1 kHz/48 kHz/96 kHz/192 kHz)

(UHDモデルのみ)

- 設定 →  → [映像] → [追加設定] → [HDMI Ultra HD ディープカラー]
- オン: 4K @ 50/60 Hz (4:4:4, 4:2:2, 4:2:0) をサポートします
- オフ: 4K @ 50/60 Hz 8ビット (4:2:0) をサポートします

入力ポートに接続されているデバイスが、Ultra HDディープカラーもサポートしている場合は、画像がより鮮明になる可能性があります。ただし、デバイスがそれをサポートしていない場合は、正しく機能しない可能性があります。その場合は、テレビの[HDMI Ultra HD ディープカラー]設定をオフに変更してください。

USB

一部のUSBハブは機能しない場合があります。USBハブを使用して接続されたUSBデバイスが検出されない場合は、テレビのUSBポートに直接接続してください。

- ウェブカムを接続する場合はUSB 1ポートを使用してください。USB 2ポートは一部のウェブカムが機能しない可能性があります。(モデルによって異なります)
- USBハブまたは電源付きのUSB HDDを使用するのがお勧めです。(電源が不足する場合、USBストレージデバイスが正しく認識されない可能性があります。)
- 5 V以下の定格電圧と500 mA以下の定格電流の外部USB HDDを使用することをお勧めします。

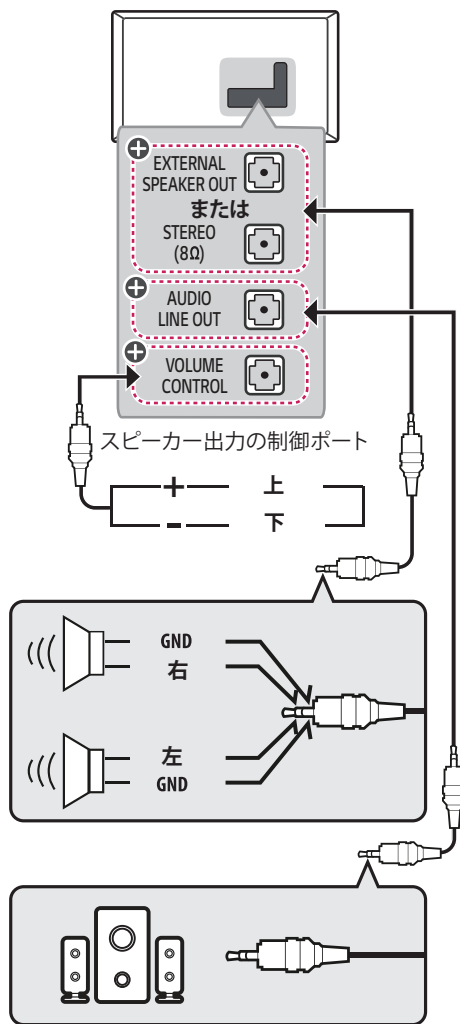
外部機器

利用可能な外部機器は次の通りです: Blu-rayプレーヤー、HDレシーバー、DVDプレーヤー、VCR、オーディオシステム、USBストレージデバイス、PC、ゲーム機、他の外部機器。

- 外部デバイスの接続は、モデルとは異なる場合があります。
- 外部入力端子の順番に関係なく、テレビに外部機器を接続してください。
- 操作手順については、外部機器の取扱説明書を参照してください。
- テレビにゲーム機器を接続する場合は、ゲーム機器に付属のケーブルを使用してください。
- PCモードでは、解像度、垂直パターン、コントラスト、輝度に関連するノイズが発生する場合があります。ノイズが発生する場合は、映像が鮮明になるまで、PC出力を別な解像度に変更し、リフレッシュレートを別のレートに変更し、映像メニューで輝度とコントラストを調整してください。
- PCモードでは、グラフィックカードによっては、一部の解像度設定が正しく機能しない場合があります。
- PCでULTRA HDコンテンツを再生すると、PCの性能によっては、映像または音声断続的に途切れる場合があります。(モデルによって異なります)
- 有線LANで接続する場合は、CAT7ケーブルの使用をお勧めします。(LANポートがある場合のみ)

外部スピーカー

(モデルによって異なります)



+: モデルによって異なります

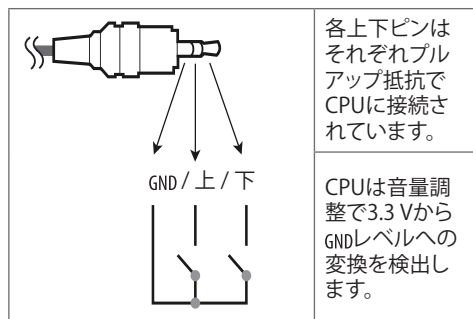


- 3極3.5 mmステレオジャックのみを使用してください。
- 外部スピーカーを接続するポートにヘッドホンやイヤホンを接続しないでください。

音量調整ポートの使用方法

(モデルによって異なります)

・ ケーブル仕様



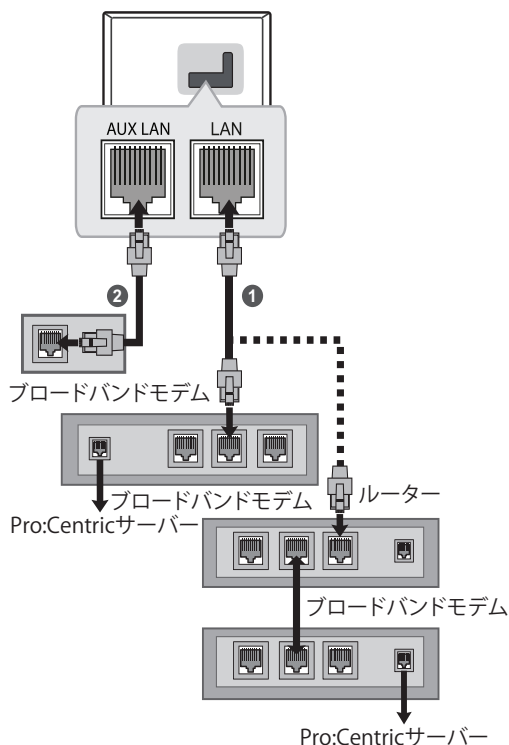
ネットワーク

(モデルによって異なります)

優先ネットワーク接続

LANポートを経由して、Pro:Centricサーバーに本製品を接続することができます。ケーブルでネットワークに接続した後、ネットワーク通信を行うために、テレビを設定してください。

テレビのLANポートとPro:CentricサーバーからのモデムまたはルーターのLANポートを接続してください。



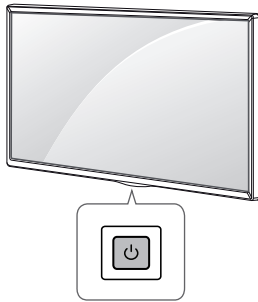
- ① テレビのLANポートとモデムまたはルーターのLANポートをLANケーブルで接続してください。
- ② テレビのAUX LANポートとPCのLANポートをLANケーブルで接続してください。(モデルによって異なります)



- ・ LANポートにモジュラーフォンケーブルを接続しないでください。
- ・ 接続方法は 通信業者またはインターネットサービスプロバイダーによって異なります。接続に関しては、お使いの通信業者またはインターネットサービスプロバイダーの仕様に従ってください。

ボタンの使い方

ボタンを使用して、テレビの機能を操作することができます。



基本機能

	電源オン(押す)
	電源オフ ¹ (長押しする)
	メニュー制御(押す ²)
	メニュー選択(長押しする ³)

- 1 すべてのアプリが終了します。
- 2 テレビの電源がオンのときに、ボタンを押すとメニューが開きます。
- 3 メニューをボタンで操作して、各種機能の設定ができます。

メニューの調整

(モデルによって異なります)

テレビをオンにして、ボタンを1回押します。ボタンを使用して、メニュー項目を調整できます。

	電源をオフに切り替えます。
	入力ソースを変更します。
	保存したプログラムをスクロールします。
	音量を調整します。

リモコンの使い方

本取扱説明書にある記述は、リモコンのボタンに基づいています。本書をよくお読みいただいて、テレビを正しい方法で使用してください。

電池を交換するには、電池カバーを開け、1.5 Vの単四形乾電池を、と極の方向をボックス内のラベルの表示に合わせて取り付け、電池カバーを閉じます。

リモコンをテレビのリモコンセンサーに向けてください。



(モデルまたは地域により、一部のボタンやサービスが使用できないことがあります。)

*** ボタンを使用するには、3秒以上長押ししてください。**

⏻ (電源): モニターの電源のオン/オフを切り替えます。

↔ 入力切換: 外部入力を切り替えます。

画面表示: 画面の右上隅にチャンネル情報と現在時刻を表示します。

地デジ、BS、CS: 放送タイプ (地上波デジタル、BS、CS1、CS2、BS4K、CS4K) を切り替えます。

数字ボタン: 数字を入力します

お好みボタン: お気に入りチャンネルリストを開きます。

⏮ ⏪ ⏩ ⏭ ⏮ ⏪ ⏩ ⏭: 停止、再生、一時停止: メディアコンテンツを操作します。

LIVE PLAYBACK: ライブ再生用のアプリケーションを起動します。

+ 音量 -: 音量を調整します。

設定: メインメニューを開きます。

字幕: 字幕の表示、言語、非表示を切り替えます。

消音: 音声をミュートします。

⬅ チャンネル ➡: チャンネルを変更します。

GUIDE 番組表: Pro:Centricアプリケーションの時刻スケジュールに応じて、プログラムイベントを表示します。

PORTAL: Pro:Centricアプリケーションを表示・削除します。

INFO 番組情報: Pro:Centricアプリケーションを通して、現在のプログラムに関する情報を表示します。

ナビゲーションボタン (上/下/左/右): メニューまたは各種設定のアイコンを移動させます。

⊙: メニューまたは各種設定の選択、決定をします。

戻る: 前の画面に戻ります。

🏠 (ホーム): ホームメニューにアクセスします。

ヒストリー: 履歴を表示します。

終了: メニューをすべて閉じて、テレビ視聴に戻ります。

青、赤、緑、黄: 一部のメニューの特殊機能にアクセスします。

音声切換: 音声を他言語または副音声に切り替えます。

dデータ: 画面上にデータ放送を表示します。

🔗 (SIMPLINK): テレビのリモコンで外部機器を操作するため、SIMPLINKの設定をおこないます。

3桁入力: 3桁のチャンネル番号を入力して、チャンネルを選択します。

CH登録: リモコン上の数字番号に希望のチャンネルを設定します。

サブ: サブメニューを表示します。

ライブメニュー: チャンネル選択および推奨リストを表示します。



- 十分安全を考慮し、テレビが見えるところで操作してください。
- 新しい電池と古い電池を一緒に使用しないでください。電池が過熱し、液漏れする恐れがあります。
- 電池の極性を一致させないと、電池が破裂したり、液漏れしたりして、火災、怪我、環境汚染を引き起こす可能性があります。
- 本製品は乾電池を使用します。地域によっては、環境保護のためにバッテリーの廃棄方法が規定されている場合があります。廃棄またはリサイクル方法については、お住まいの自治体にお問い合わせください。
- 製品の内部及び外部の電池は極端に高温な場所 (直射日光のあたる場所や火など) に置かないでください。

トラブルシューティング

ソフトウェアバージョンは、品質の向上を目的として、更新されることがあります。

お使いの機器がLGEソフトウェアに対応しているかはお客様側でご確認ください。必要であれば、LGEにお問い合わせいただき、LGEのガイダンスに従って更新されたソフトウェアのバージョンをアップロードしてください。受光部の前に物が置かれていないか確認してください。

- ・製品のリモコンセンサーを確認して、再試行してください。
- ・本製品とリモコンに間に障害物がないことを確認してください。
- ・リモコンの乾電池が、正しい極性(+)(-)でセットされ消耗していないことを確認してください。

問題: 映像が表示しない、音声は聞こえない。

- ・テレビの電源がオンになっているか確認してください。
- ・コンセントに電源コードが接続されているか確認してください。
- ・他の電化製品を接続して、コンセントに問題がないか確認してください。

問題: テレビの電源が突然オフになる。

- ・電源コントロールの設定を確認してください。停電した可能性があります。
- ・時刻関連の設定で自動オフ機能が有効になっていないか確認してください。
- ・テレビがオンの状態で、15分間信号を受信しなかった場合、テレビの電源が自動的にオフになります。

HDMIでPCに接続しても映像が映らない

- ・テレビの電源を一度オフにして、再度オンにしてください。
- ・HDMIケーブルを接続しなおしてください。
- ・テレビがオンの状態で、PCを再起動してください。

異常な表示

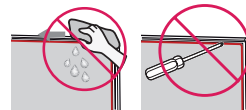
- ・製品が冷えている状態で、電源をオンにすると、画面がちらつくことがあります。これは正常です。通電して温度が上昇すれば、正常な状態に戻ります。
- ・このパネルは、数百万ピクセルを含む高精度な製品です。パネルに1ppmのサイズの小さな黒い点や明るい色の点(赤、青、緑)が表示されることがあります。これは故障を示すものではなく、製品の性能や信頼性に影響を与えるものではありません。この現象はサードパーティ製品でも発生し、交換または返金の対象にはなりません。
- ・視聴位置(左/右/上/下)によって、パネルの明るさや色が異なる場合があります。
この現象は、パネルの特性により発生します。製品の性能とは関係なく、故障ではありません。
- ・静止画像を長時間表示したままにしておくと、残像が発生する場合があります。同じ静止画像を長時間表示し続けしないでください。

生成される音

- ・「クラッキング」ノイズ: テレビの視聴中や、テレビをオフにしたときに発生するクラッキングノイズは、温度または熱によりプラスチックが熱収縮することにより発生します。発熱による柔軟さが必要な製品では特別なことではなく、製品の不良や故障ではありません。
- ・電気回路や液晶パネルの異音: 製品を処理するために大量の電流を供給する高速切り替え回路から、低レベルノイズが生成されます。これは、製品によって異なります。この生成される音は、本製品の性能や信頼性に影響を与えません。



- ・本製品のお手入れの際は、パネルやベゼルの上部、左右部の隙間から液体や異物が本体内に混入しないようご注意ください。(モデルによって異なります)



- ・水分や洗浄液が残らないように、布をよく絞ってください。
- ・テレビの画面に水や洗浄液を直接吹きかけないでください。
- ・画面を拭くときは、乾いた布に適量の水または洗浄液を付けて拭き取ってください。

仕様

(国ごとに異なります)

放送仕様	
テレビシステム	ISDB-T/ISDB-S/S3 (BS/CS)
チャンネル範囲(帯域)	地上デジタル(CATV バススルー対応): VHF: 1~12 UHF: 13~62 CATV: C13~C63 BSデジタル: 000~999 CSデジタル: 000~999 BS4Kデジタル: 001~499 CS4Kデジタル: 500~999
外部アンテナのインピーダンス	75 Ω

無線モジュール(LGSBWAC92)の仕様	
無線LAN (IEEE 802.11a/b/g/n/ac)	
使用周波数	無線出力
2400~2483.5 MHz 5180 MHz, 5190 MHz, 5200 MHz, 5210 MHz, 5220 MHz, 5230 MHz, 5240 MHz, 5260 MHz, 5270 MHz, 5280 MHz, 5290 MHz, 5300 MHz, 5310 MHz, 5320 MHz, 5500 MHz, 5510 MHz, 5520 MHz, 5530 MHz, 5540 MHz, 5550 MHz, 5560 MHz, 5580 MHz, 5590 MHz, 5600 MHz, 5610 MHz, 5620 MHz, 5630 MHz, 5640 MHz, 5660 MHz, 5670 MHz, 5680 MHz, 5700 MHz	802.11a: 16 dBm 以下 802.11b: 18 dBm 以下 802.11g: 17 dBm 以下 802.11n - 2.4GHz: 18 dBm 以下 802.11n - 5GHz: 16 dBm 以下 802.11ac - 5GHz: 16 dBm 以下
Bluetooth	
使用周波数	無線出力
2400~2483.5 MHz	8 dBm 以下

環境条件	
動作温度	0 °C~40 °C
動作湿度	80 %以下
保管温度	-20 °C~60 °C
保管湿度	85 %以下

形名	65US660H0JD
受信機型サイズ	65 V
年間消費電力量(標準時)(注1)	266 kWh/年
年間消費電力の区分名(注2) (目標年度2026 年度)	c (4K 以上液晶テレビ)

形名	55US660H0JD
受信機型サイズ	55 V
年間消費電力量(標準時)(注1)	186 kWh/年
年間消費電力の区分名(注2) (目標年度2026 年度)	c (4K 以上液晶テレビ)

形名	43US660H0JD
受信機型サイズ	43 V
年間消費電力量(標準時)(注1)	118 kWh/年
年間消費電力の区分名(注2) (目標年度2026 年度)	c (4K 以上液晶テレビ)

(注1) 年間消費電力量とは:

省エネ法に基づいて、1 日あたり5.1 時間の平均視聴時間／18.9時間の待機時間(電子番組表取得時間を含む)で算出した、一年間に消費する電力量です。

(注2) 年間消費電力の区分名とは:

省エネ法において、画素数およびパネルの種類に基づき規定されている名称のことです。

- 本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- 本製品は電気通信事業者(移动通信会社、固定通信事業会社、インターネットプロバイダ等)の通信回線(公衆無線 LAN を含む)に直接接続する事ができません。
- 本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータ等を経由して接続して下さい。
- 電波法により 5.2GHz 帯 (W52) 高出力データ通信システムの基地局又は陸上移動局と通信する場合を除き、5.2GHz 帯及び 5.3GHz 帯 (W52/W53) の屋外使用は禁止されています。



1. Wi-Fi

この表示のある無線機器は、2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

2. For Motion remote (Bluetooth)

この表示のある無線機器は、2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてFH-SS方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

<本製品の使用上の注意事項>

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーセンターへお問い合わせください。

HDMI-DTVサポートモード

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
640 x 480p	31.46 31.5	59.94 60
720 x 480p	31.46 31.5	59.94 60
720 x 576p	31.25	50
1280 x 720p	44.95 45 37.5	59.94 60 50
1920 x 1080i	28.12 33.71 33.75	50 59.94 60
1920 x 1080p	26.97 27 33.71 33.75 56.25 67.43 67.5	23.97 24 29.97 30 50 59.94 60
1920 x 1080p	112.5 134.86 135	100 119.88 120
3840 x 2160p	53.94 54 56.25 67.43 67.5 112.5 134.86 135	23.97 24 25 29.97 30 50 59.94 60
4096 x 2160p	53.94 54 56.25 67.43 67.5 112.5 134.86 135	23.97 24 25 29.97 30 50 59.94 60

HDMI-PCサポートモード

- ・ PCオーディオはサポートされません。
- ・ PCモードの場合はHDMI入力1を使用。(モデルによって異なります)

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
640 x 350	31.46	70.09
720 x 400	31.46	70.08
640 x 480	31.46	59.94
800 x 600	37.87	60.31
1024 x 768	48.36	60
1360 x 768	47.71	60.01
1152 x 864	54.34	60.05
1280 x 1024	63.98	60.02
1920 x 1080	67.5 134.86 135	60 119.88 120
2560 x 1440	88.78	59.95
3840 x 2160	53.94 54 56.25 67.43 67.5 112.5 134.86 135	23.97 24 25 29.97 30 50 59.94 60
4096 x 2160	53.94 54 56.25 67.43 67.5 112.5 134.86 135	23.97 24 25 29.97 30 50 59.94 60

サポートする画像形式

ファイル形式	形式	解像度
.jpeg、 .jpg、 .jpe	JPEG	最小:64 (幅) x 64 (高さ) 最大 (ノーマルタイプ): 15360 (幅) x 8640 (高さ) 最大 (プログレッシブタイプ): 1920 (幅) x 1440 (高さ)
.png	PNG	最小:64 (幅) x 64 (高さ) 最大:5760 (幅) x 5760 (高さ)
.bmp	BMP	最小:64 (幅) x 64 (高さ) 最大:1920 (幅) x 1080 (高さ)

サポートする音声形式

ファイル形式	アイテム	情報
.mp3	ビットレート	32 Kbps - 320 Kbps
	サンプリング周波数	16 kHz - 48 kHz
	サポート	MPEG1、MPEG2
	チャンネル	モノラル、ステレオ
.wav	ビットレート	-
	サンプリング周波数	8 kHz - 96 kHz
	サポート	PCM
	チャンネル	モノラル、ステレオ
.ogg	ビットレート	64 kbps - 320 kbps
	サンプリング周波数	8 kHz - 48 kHz
	サポート	Vorbis
	チャンネル	モノラル、ステレオ
.wma	ビットレート	128 kbps - 320 kbps
	サンプリング周波数	8 kHz - 48 kHz
	サポート	WMA
	チャンネル	最大6チャンネル
.flac	ビットレート	-
	サンプリング周波数	8 kHz - 96 kHz
	サポート	FLAC
	チャンネル	モノラル、ステレオ

- サポートされるプログラム数は、サンプル周波数に応じて異なる場合があります。

サポートする映像形式

拡張	コーデック	
.asf .wmv	映像	VC-1アドバンストプロファイル (WMVAを除く)、VC-1サンプルおよびメインプロファイル
	音声	WMAスタンダード (WMA v1/WMA Speechを除く)
.avi	映像	Xvid (GMCはサポートされません)、H.264/AVC、モーションJpeg、MPEG-4
	音声	MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III (MP3)、Dolby Digital、LPCM、ADPCM
.mp4 .m4v .mov	映像	H.264/AVC、MPEG-4、HEVC、AV1
	音声	Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、MPEG-1 Layer III (MP3)、Dolby AC-4 ¹
.3gp .3g2	映像	H.264/AVC、MPEG-4
	音声	AAC、AMR-NB、AMR-WB
.mkv	映像	MPEG-2、MPEG-4、H.264/AVC、VP8、VP9、HEVC、AV1
	音声	Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、PCM、MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III (MP3)
.ts .trp .tp .mts	映像	H.264/AVC、MPEG-2、HEVC
	音声	MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III (MP3)、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、PCM、Dolby AC-4 ¹
.mpg .mpeg .dat	映像	MPEG-1、MPEG-2
	音声	MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III (MP3)
.vob	映像	MPEG-1、MPEG-2
	音声	Dolby Digital、MPEG-1 Layer I、II、DVD-LPCM

¹ Dolby AC-4: この機能は一部モデルでのみ利用できます。

ビデオ再生時の注意事項

(UHDモデルのみ)

- Ultra HDビデオ: 3840 x 2160、4096 x 2160
- LG Electronicsが公式提供する以外のコンテンツでは一部のHEVCエンコードされたUltra HDビデオを再生できます。
- 一部のコーデックはソフトウェアアップデートするとサポートされます。

拡張	コーデック	
.mkv .mp4 .ts	映像	H.264/AVC、HEVC
	音声	Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC

サポートする外部時字幕

字幕	形式
外部字幕	*.smi、*.srt、*.sub (MicroDVD、SubViewer 1.0/2.0)、*.ass、*.ssa、*.txt (TMPPlayer)、*.psb (PowerDivX)、*.dcs (DLP Cinema)
埋め込み字幕	Matroska (mkv) : Sub Station Alpha (SSA)、Advanced Sub Station Alpha (ASS)、SRT MP4: Timed Text

Green Mark



本製品は、日本工業規格 (JIS C0950:2008) における「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法」(通称J-Moss) の規定する特定化学物質の含有率が基準値以下に管理された製品であるため、J-Moss グリーンマークを表示しています。

特定の化学物質 (鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE) の含有についての情報は下記 Web サイトをご覧ください。

Web サイト: <https://www.lge.com/jp/eco/eco-product#jMoss.sdf>

オープンソースソフトウェアのお知らせ

本製品に実装されている GPL、LGPL、MPL およびその他のオープンソースライセンスに基づく開示義務を有するソースコードの入手は <https://opensource.lge.com/> の Web サイトをご覧ください。

ソースコードと共に、該当するすべてのライセンス内容および著作権表示をダウンロードすることができます。また、弊社は有料で CD-ROM によりオープンソースコードを提供しています。料金には CD-ROM の代金、送料、取扱手数料が含まれます。ご希望される場合は、opensource@lge.com まで電子メールでお問い合わせください。

本サービスは、弊社が本製品を販売後3年間、本情報を受け取られたすべての方に対して有効です。

登録商標

サポートしているライセンスは、モデルによって異なる場合があります。

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Vision、Dolby Vision IQ、Dolby Audio、Dolby Atmos 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズライセンスリングコーポレーションの商標です。

HE Advance™
Covered by patents at patentlist.accessadvance.com

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、LG Electronics Inc. はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

記号

～	交流 (AC) を表します。
==	直流 (DC) を表します。
□	クラス II の装置を表します。
⏻	スタンバイを表します。
	「オン」(電源) を表します。
⚡	危険な電圧を表します。

さらに、安全にお使いいただくために

製品を正しく安全にお使いいただくために、本取扱説明書の「安全にお使いいただくために」は、お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

さらに、下記の簡単な安全対策（特にお子様への安全対策）をお読みいただき、より安全にお使いいただけますよう、お願い致します。

- 決してテレビを不安定な場所に設置しないでください。テレビが落下して、けがや死亡の原因になることがあります。
- キャビネット、スタンドまたは壁掛け金具は当社が推奨する取り付け方法で常に使用してください。
- テレビを安全にサポートできる家具を常に使用してください。
- テレビが設置する家具の端からはみ出していないことを常に確認してください。
- お子様には、テレビを設置したテレビ台や家具の上に登って操作をさせないでください。
- テレビに接続されたコードやケーブルは、火災・感電の原因になることがありますので、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりしないでください。また、ケガの原因になることがありますので、足を引っ掛けたりしないように処理を行ってください。
- 家具とテレビの両方が適切に固定しない、背の高い家具（たとえば、食器棚や本棚など）の上にテレビ置かないでください。
- 布やその他の材料を敷いたテレビ台や家具の上に、テレビを設置しないでください。
- おもちゃやリモコンなど、子供が登りたくなるようなアイテムをテレビまたはテレビが置かれている家具の上に置かないでください。

テレビの設置および移動する場合は、上記の事に注意して行ってください。

IRコード

・この機能は、すべてのモデルで利用可能なわけではありません。

コード (16進数)	機能	注	コード (16進数)	機能	注
00	チャンネル 	R/Cボタン	43	設定	R/Cボタン
01	チャンネル 	R/Cボタン	44	 決定	R/Cボタン
02	音量 	R/Cボタン	61	青	R/Cボタン
03	音量 	R/Cボタン	63	黄	R/Cボタン
06		R/Cボタン	71	緑	R/Cボタン
07		R/Cボタン	72	赤	R/Cボタン
08	 (電源)	R/Cボタン	AA	INFO  , 番組情報	R/Cボタン
09	消音	R/Cボタン	AB	GUIDE, 番組表	R/Cボタン
0A	音声切換	R/Cボタン	AC	画面表示	R/Cボタン
0B	 入力切換	R/Cボタン	BA	 一時停止	R/Cボタン
0C	PORTAL		B0	 再生/LIVE PLAYBACK	R/Cボタン
2D	CH 登録	R/Cボタン	B1	 停止	R/Cボタン
5B	終了	R/Cボタン	B2	 	R/Cボタン
7C	 ヒストリー	R/Cボタン	B3	 	R/Cボタン
8E	 	R/Cボタン	DB 3A	数字キー10/0	R/Cボタン
8F	 	R/Cボタン	DB 3B	数字キー11、 お好みボタン	R/Cボタン
9E	ライブメニュー	R/Cボタン	DB 3C	数字キー12	R/Cボタン
9F	d データ	R/Cボタン	DB 00	BS	R/Cボタン
23	3桁入力	R/Cボタン	DB 10/DB 20	CS	R/Cボタン
28	戻る	R/Cボタン	DB 30	地デジ	R/Cボタン
39	字幕	R/Cボタン	DB 31~39	数字キー1~9	R/Cボタン
40		R/Cボタン	7E	 SIMPLINK	R/Cボタン
41		R/Cボタン	96	サブ	R/Cボタン

・IRコード4C (0 x 4C) は、メジャー/マイナーチャンネルを使用するATSC/ISDBモデルで利用可能です。
(コロンビアモデルを除く、韓国、日本、北米、中南米の場合)

外部制御デバイスのセットアップ

RS-232Cのセットアップ

(モデルによって異なります)

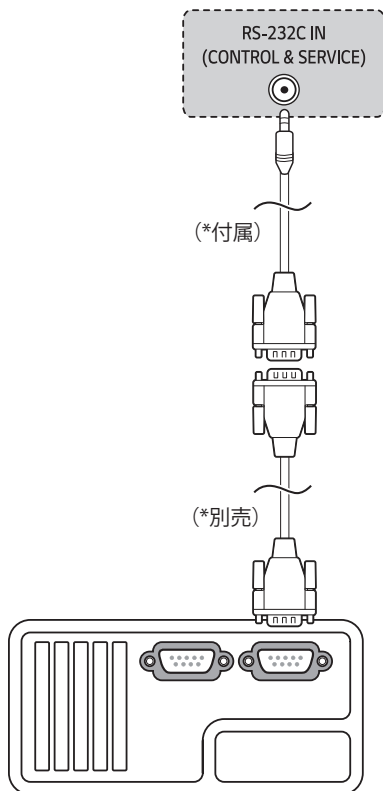
- 表示される画像がお使いのテレビとは異なる場合があります。

RS-232C (シリアルポート) 入力ジャックを外部制御デバイス (コンピューターまたはA/V制御システム) へ接続して、製品の機能を外部から制御できます。

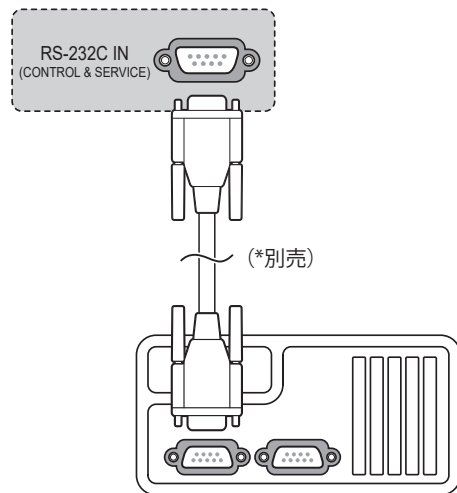
制御デバイスのシリアルポートを製品背面のRS-232Cジャックへ接続します。

- RS-232C接続ケーブルは製品に付属していません。

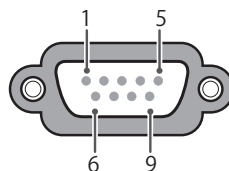
▶ Aタイプ



▶ Bタイプ



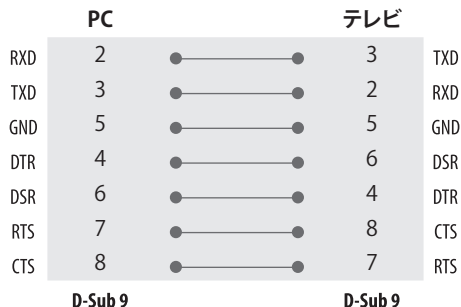
コネクターのタイプ:D-Sub 9ピンオス



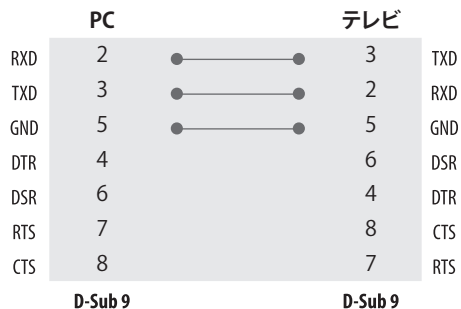
番号	ピン名
1	3.5 V
2	RXD (データ受信)
3	TXD (データ送信)
4	テレビからのIR出力
5	GND
6	接続なし
7	接続なし(一部のモデルでは5 Vを利用可能)
8	接続なし
9	接続なし(一部のモデルでは12 Vを利用可能)

RS-232Cの設定

7線設定 (標準RS-232Cケーブル)



3線設定 (標準外)



通信パラメーター

- ・ ボーレート : 9,600 bps (UART)
- ・ データ長 : 8ビット
- ・ パリティ : なし
- ・ ストップビット : 1ビット
- ・ 通信コード : ASCIIコード
- ・ クロス (反転) ケーブルを使用すること。

IDの設定

[IDの設定]番号については、"リアルデータのマッピング"を参照してください。

- 1 設定 → ⓘを押してメインメニューを開きます。
- 2 ナビゲーションボタンを押して[サポート]または[機器設定] → [IDの設定]へ進み、⊙決定を押します。
- 3 左右にスクロールして[IDの設定]番号を選択します。1～99の範囲で設定できます。



- ・ 一部のモデルは最大1000までの[IDの設定]をサポートします。

コマンド参照リスト

(モデルによって異なります)

	コマンド1	コマンド2	データ (16進数)
1 電源	k	a	00～01
2 アスペクト比	k	c	(27ページを参照)
3 画面のミュート	k	d	(28ページを参照)
4 音量のミュート	k	e	00～01
5 音量制御	k	f	00～64
6 コントラスト	k	g	00～64
7 明るさ	k	h	00～64
8 色	k	i	00～64
9 色合い	k	j	00～64
10 シャープネス	k	k	00～32
11 OSD選択	k	l	00～01
12 リモコンのロックモード	k	m	00～01
13 バランス	k	t	00～64
14 色温度	x	u	00～64
15 省電力	j	q	(30ページを参照)
16 自動設定	j	u	01
17 イコライザー	j	v	(30ページを参照)
18 調整コマンド	m	a	(31ページを参照)
19 プログラムのスキップ/追加	m	b	00～01
20 キー	m	c	(31ページを参照)
21 バックライトの調整	m	g	00～64
22 入力選択	x	b	(32ページを参照)
23 プログラムのブロック/ロック解除	m	d	(32ページを参照)

	コマンド1	コマンド2	データ (16進数)
24 フェイルオーバーモード	m	i	(33ページを参照)
25 フェイルオーバーの入力選択	m	j	(33ページを参照)
26 内部ストレージのメディアコンテンツ再生	s	n, a8	(34ページを参照)

- メディア再生時、電源 (ka) とキー (mc) 以外のコマンド全ては実行されず、NGとして処理されます。RS-232Cケーブルを通じて、テレビは電源オンまたは電源オフ状態で「kaコマンド」を通信できます。ただし、USB-シリアルコンバーターケーブルを使用する場合は、テレビがオンの状態でしかコマンドは動作しません。

送信/受信プロトコル

(モデルによって異なります)

送信

(コマンド1)(コマンド2)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

(コマンド1): テレビを操作する最初のコマンドです。
(j, k, m, x)

(コマンド2): テレビを操作するコマンドを選択します。

(IDの設定): IDの設定を調節して、オプションメニューのモニターのID番号を選択できます。調整範囲は1~99です。IDの設定で「0」を選択すると、接続されたすべてのセットを制御できます。IDの設定はメニューでは10進数(1~99)として、送信/受信プロトコルでは16進数(0 x 0~0 x 63)として表示されます。

(データ): コマンドデータを送信します。「FF」データを送信するとコマンドの状態を読み取ります。

(Cr): キャリッジリターン

ASCIIコード「0 x 0D」

(): ASCIIコード「スペース (0 x 20)」



・一部のモデルは最大1000(16進数で0 x 3E8)までのIDの設定をサポートします。

OK確認

(コマンド2)() (IDの設定)() (OK)(データ)(x)

* セットは標準データを受信すると、この形式でACK(確認)を送信します。この時点で、データが読み取りモードの場合、現在のステータスデータを示します。データが書き込みモードの場合、PCのデータを返します。

エラー確認

(コマンド2)() (IDの設定)() (NG)(データ)(x)

* セットは動作しない関数の異常データまたは通信エラーを受信すると、この形式でACK(確認)を送信します。

データ 00: 不良コード

1 電源 (コマンド: k a)

▶ セットの電源オン/オフを制御します。

送信

(k)(a)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00: オフ

データ 01: オン

確認

(a)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

▶ テレビの電源オン/オフを表示します。

送信

(k)(a)() (IDの設定)() (FF)(Cr)

確認

(a)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

* 同様に、この形式に基づいて他の関数が「0 x FF」データを送信すると、確認データのフィードバックで各関数のステータスが示されます。

* テレビの電源がオンになると、OK Ack (OK確認)、Error Ack (エラー確認) やその他のメッセージが、画面に表示されます。

2 アスペクト比 (コマンド: k c) (メイン画面サイズ)

▶ 画面形式を調整します。(メイン画面形式) 画像設定を使用して画面形式を調整することもできます。

送信

(k)(c)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 01: 4:3 (通常画面 - ジャストスキャンオフ)

データ 02: 16:9 (ワイド画面 - ジャストスキャンオフ)

データ 06: オリジナル (ジャストスキャンオフ)

データ 09: ジャストスキャン

* モデルが垂直ズームと全方向ズームモードの両方をサポートしないようにしてください。

確認

(c)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

* PC入力を使用して、16:9または4:3の画面アスペクト比を選択できます。

* DTV/HDMI (1080i 50 Hz / 60 Hz, 720p 50 Hz / 60 Hz, 1080p 24 Hz / 30 Hz / 50 Hz / 60 Hz)、コンポーネント(720p, 1080i, 1080p)モード、ジャストスキャンを使用できます。

* フルワイドはデジタル、アナログ、AVでのみサポートされます。

3 画面のミュート (コマンド:k d)

- ▶ 画面のミュートをオン/オフします。

送信

(k)(d)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00:画面のミュートオフ(画像オン)/ビデオのミュートオフ

データ 01:画面のミュートオン(画像オフ)

データ 10:ビデオのミュートオン

確認

(d)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* ビデオのミュートオンのみの場合は、テレビはオンスクリーン画面 (OSD) を表示します。ただし、画面のミュートがオンの場合は、テレビはOSDを表示しません。

4 音量のミュート (コマンド:k e)

- ▶ 音量のミュートをオン/オフします。
リモコンのミュートボタンを使用してミュートすることもできます。

送信

(k)(e)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00:音量ミュートオン(音量オフ)

データ 01:音量ミュートオフ(音量オン)

確認

(e)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

5 音量制御 (コマンド:k f)

- ▶ 音量を調整します。
リモコンの音量ボタンで音量を調整することもできます。

送信

(k)(f)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 最小:00 ~ 最大:64

* "リアルデータのマッピング"を参照してください。

確認

(f)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

6 コントラスト (コマンド:k g)

- ▶ 画面のコントラストを調整します。
画像設定でコントラストを設定することもできます。

送信

(k)(g)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 最小:00 ~ 最大:64

* "リアルデータのマッピング"を参照してください。

確認

(g)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

7 明るさ (コマンド:k h)

- ▶ 画面の明るさを調整します。
画像設定で明るさを設定することもできます。

送信

(k)(h)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 最小:00 ~ 最大:64

* "リアルデータのマッピング"を参照してください。

確認

(h)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

8 色 (コマンド:k i)

- ▶ 画面の色を調整します。
画像設定で色を設定することもできます。

送信

(k)(i)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 最小:00 ~ 最大:64

* "リアルデータのマッピング"を参照してください。

確認

(i)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

9 色合い (コマンド:k j)

- ▶ 画面の色合いを調整します。
画像設定で色合いを調整することもできます。

送信

(k)(j)() (IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 赤:00 ~ 緑:64

* "リアルデータのマッピング"を参照してください。

確認

(j)() (IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

10 シャープネス (コマンド:k k)

- ▶ 画面のシャープネスを調整します。
画像設定でシャープネスを調整することもできます。

送信

(k)(k)() (IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 最小:00 ~ 最大:32

* "リアルデータのマッピング"を参照してください。

確認

(k)() (IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

11 OSD選択 (コマンド:k l)

- ▶ リモコン操作する場合にOSD (オンスクリーン画面) のオンオフを選択します。

送信

(k)(l)() (IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00:オフ

データ 01:オン

確認

(l)() (IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

12 リモコンのロックモード (コマンド:k m)

- ▶ モニターとリモコンのフロントパネル操作をロックします。

送信

(k)(m)() (IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00:オフ

データ 01:オン

確認

(m)() (IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* リモコンを使用しない場合は、このモードを使用してください。主電源をオン/オフする場合、外部制御のロックは解除されます。

* スタンバイモードでキーロックがオンの場合、IRとローカルキーのキーでテレビの電源をオンにすることはできません。

13 バランス (コマンド:k t)

- ▶ バランスを調整します。
オーディオ設定でバランスを調整することもできます。

送信

(k)(t)() (IDの設定)()(データ)(Cr)

データ L:00 ~ R:64

* "リアルデータのマッピング"を参照してください。

確認

(t)() (IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

14 色温度 (コマンド:x u)

- ▶ 色温度を調整します。画像設定で色温度を調整することもできます。

送信

(x)(u)() (IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 暖色:00 ~ 寒色:64

* "リアルデータのマッピング"を参照してください。

確認

(u)() (IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

15 省電力 (コマンド:j q)

- ▶ テレビの消費電力を削減します。画像設定でも省エネルギーを調整できます。

送信

(j)(q)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

省エネルギー機能					水準器				説明
7	6	5	4		3	2	1	0	
0	0	0	0	低電力	0	0	0	0	オフ
0	0	0	0	低電力	0	0	0	1	最小
0	0	0	0	低電力	0	0	1	0	標準
0	0	0	0	低電力	0	0	1	1	最大
0	0	0	0	低電力	0	1	0	1	画面オフ
0	0	0	0	低電力	0	1	0	0	自動

- ▶ 自動は「インテリジェントセンサー」をサポートするテレビで利用できます。

確認

(q)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

16 自動設定 (コマンド:j u) (RGBサポートモデルのみ)

- ▶ 画面の位置を調整して画像の揺れを自動的に最小限にとどめます。RGB (PC)モードでのみ動作します。

送信

(j)(u)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 01:~ セット

確認

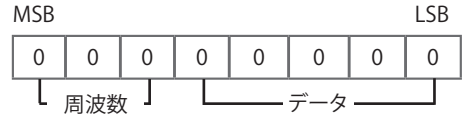
(u)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

17 イコライザー (コマンド:j v)

- ▶ イコライザーを調整します。

送信

(j)(v)()(IDの設定)()(データ)(Cr)



7	6	5	周波数	4	3	2	1	0	ステップ
0	0	0	第一帯域	0	0	0	0	0	0 (10進数)
0	0	1	第二帯域	0	0	0	0	1	1 (10進数)
0	1	0	第三帯域	...	...	...	...	...	...
0	1	1	第四帯域	1	0	0	1	1	19 (10進数)
1	0	0	第五帯域	1	0	1	0	0	20 (10進数)

確認

(v)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

18 調整コマンド (コマンド:m a)

▶ チャンネルを以下の物理番号へ選択します。

送信

(m)(a)()(IDの設定)()(データ00)()(データ01)()

(データ02)(Cr)

データ 00:ハイチャンネルのデータ

データ 01:ローチャンネルのデータ

例: No. 47 → 00 2F (2FH)

No. 394 → 01 8A (18AH)、

DTV No. 0 → 無視

データ 02: (アンテナ)

0 x 00:アナログ メイン

0 x 10:DTV メイン

0 x 20:無線

(ケーブル)

0 x 80:アナログ メイン

0 x 90:DTV メイン

0 x A0:無線

(衛星)

0 x 40:DTV メイン

0 x 50:無線 メイン

チャンネルデータの範囲

最小:00 最大:270F (0~9999)

確認

(a)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

19 プログラムのスキップ/追加 (コマンド:m b)

▶ 現在のプログラムのスキップステータスを設定します。

送信

(m)(b)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00:スキップ

データ 01:追加

確認

(b)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

20 キー (コマンド:m c)

▶ IRリモートキーコードを送信します。

送信

(m)(c)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ "IRコード"

確認

(c)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

21 バックライトの調整 (コマンド:m g)

▶ バックライトを調整します。

送信

(m)(g)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 最小:00 ~ 最大:64

確認

(g)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

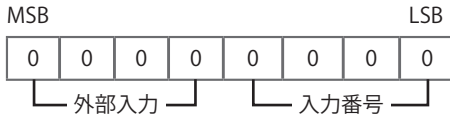
22 入力選択 (コマンド:x b) (メイン画面入力)

▶ メイン画面の入力ソースを選択します。

送信

(x)(b)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 構造



外部入力				データ
0	0	0	0	DTV
0	0	0	1	アナログ
0	0	1	0	AV
0	1	0	0	コンポーネント
0	1	1	0	RGB
0	1	1	1	HDMI
1	0	0	0	
1	0	0	1	
1	0	1	0	

入力番号				データ
0	0	0	0	入力1
0	0	0	1	入力2
0	0	1	0	入力3
0	0	1	1	入力4

確認

(b)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

23 プログラムのブロック/ブロック解除

(コマンド:m d)

▶ モデルと信号によって、このコマンドの動作は異なる場合があります。

(韓国、北米/中南米(コロンビアを除く)向けモデル)

送信

(m)(d)()(IDの設定)()(データ 00)()(データ 01)()

(データ 02)(データ 03)(データ 04)()(データ 05)()

(データ 06)(Cr)

(データ 00):物理チャンネル番号

(データ 01)(データ 02):メジャーチャンネル番号

- (データ 01):ハイチャンネルのデータ

- (データ 02):ローチャンネルのデータ

00 00~27 0F (10進数:0~9999)

(データ 03)(データ 04):マイナーチャンネル番号

- (データ 03):ハイチャンネルのデータ

- (データ 04):ローチャンネルのデータ

(データ 05):入力ソース

- 02:アンテナTV (DTV)

- 06:ケーブルTV (CADTV)

- 0b:ケーブルDTV Plus

(データ 06):ブロック(01)/ブロック解除(00)

確認

(d)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ 00)(データ 01)

(データ 02)(データ 03)(データ 04)(データ 05)

(データ 06)(x)

* ブロック/ブロック解除コマンド例

ブロック/ブロック解除ケーブルDTV (DVB-T) チャンネル18-2

(IDの設定) = 01

(データ 00) = 物理チャンネル番号 18 = 12(HEX)

(データ 01) & (データ 02) = メジャーチャンネル番号は 18 = 00 12(HEX)

(データ 03) & (データ 04) = メジャーチャンネル番号は 2 = 00 02(HEX)

(データ 05) = ケーブル DTV = 06

(データ 06) = ブロック(01)/ブロック解除(00)

結果:

md 01 12 00 12 00 02 06 (01/00)

(コロンビアを除くその他すべての地域、上記の国を除く)

送信

(m)(d)(IDの設定)(データ 00)(データ 01)(

データ 02)(データ 03)(データ 04)(Cr)

(データ 00):物理チャンネル番号

(データ 01)(データ 02):チャンネルデータ

- (データ 01):ハイチャンネルのデータ

- (データ 02):ローチャンネルのデータ

00 00~27 0F (10進数:0~9999)

(データ 03):入力ソース

- 10:アンテナTV (DTV)

- 20:アンテナラジオ (無線)

- 40:衛星TV (SDTV)

- 50:衛星ラジオ (S-Radio)

- 90:ケーブルTV (CADTV)

- a0:ケーブルラジオ (CA-Radio)

(データ 04):ブロック(01)/ブロック解除(00)

確認

(d)(IDの設定)(OK/NG)(データ 00)(データ 01)

(データ 02)(データ 03)(データ 04)(x)

* ブロック/ブロック解除コマンド例

ブロック/ブロック解除デジタルアンテナ(DVB-T)
チャンネル800

(IDの設定) = すべて = 01

(データ 00) = 物理チャンネル番号 30 = 1E

(データ 01) & (データ 02) = チャンネルデータは
800 = 03 20

(データ 03) = デジタルアンテナTV = 10

(データ 04) = ブロック/ブロック解除 = (01/00)

結果:

md 01 1E 03 20 10 (01/00)

24 フェイルオーバーモード (コマンド:m i)

▶ フェイルオーバーモードを選択します。

送信

(m)(i)(IDの設定)(データ)(Cr)

データ 00:オフ

データ 01:自動

データ 02:手動

確認

(i)(IDの設定)(OK/NG)(データ)(x)

25 フェイルオーバーの入力選択 (コマンド:m j)

▶ フェイルオーバーの入力ソースを選択します。

(この機能はフェイルオーバーがカスタムに設定
されている場合にのみ利用できます。)

送信

(m)(j)(IDの設定)(データ 1)(データ 2)(

データ 3)(データ 4)...(データ N)(Cr)

データ 1~N (入力優先度 1-N)

データ 20:AV1

データ 21:AV2

データ 22:AV3

データ 90:HDMI1

データ 91:HDMI2

データ 92:HDMI3

データ 93:HDMI4

確認

(j)(IDの設定)(OK/NG)(データ 1)(データ 2)

(データ 3)(データ 4)...(データ N)(x)

* 一部の入力信号はすべてのモデルに適用されな
い場合があります。

* データ番号 (N) はモデルに応じて異なる場合があ
ります。(データ番号はサポートされる入力信号の
数に依存します。)

26 内部ストレージのメディアコンテンツ再生
(コマンド:s n、a8)

- ▶ 内部メモリーに保存されたメディアを再生します。
- ▶ モデルと信号によって、このコマンドの動作は異なる場合があります。

送信

(s)(n)()(IDの設定)()(a)(8)()(データ)(Cr)

データ 01:メディアコンテンツの再生
確認

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(a)(8)()(データ)(x)

* リアルデータのマッピング

00:	ステップ0
:	
A:	ステップ10 (IDの設定 10)
:	
F:	ステップ15 (IDの設定 15)
10:	ステップ16 (IDの設定 16)
:	
64:	ステップ100
:	
6E:	ステップ110
:	
73:	ステップ115
74:	ステップ116
:	
CF:	ステップ199
:	
FE:	ステップ254
FF:	ステップ255

保証とアフターサービス

修理の受付・操作・故障に関するお問い合わせ窓口

LG Electronics Japan (株) カスタマーセンター



固定電話

0120-711-228



携帯電話・PHS

0570-200-948

IP電話などからフリーダイヤルがご利用いただけない場合は TEL:03-5675-7323までご連絡ください。
お客様からご提供いただいた個人情報はお問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。

利用目的の範囲内で当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

お客様の個人情報は適切に管理し、当社が必要と判断する期間保存させていただきます。

受付時間 9:00～18:00 (年末年始および当社指定日を除く)

※上記の内容は予告なく変更される場合があります。お手数ですが、当社ホームページ (www.lg.com) をご参照ください。



製品のモデルとシリアル番号は背面と側面にあります。サポートが必要になったときのため、下記にご記入ください。

モデル

製造番号